第９回工学部国際交流フォーラム「Ginga Lecture」実施報告

２０１３．１０．１７

研究グローバル化特別対策室

工学部研究グローバル化特別対策室では，様々な国の大学との研究交流を活発にし，さらに学生交流を推進することによって，工学部に於ける教育と研究のグローバル化を進める活動を行っております．その中の一つとして，国際交流フォーラムを開催しております．

第９回工学部国際交流フォーラムを，下記の日程で開催いたしましたので報告いたします．

日　時　2013 年１０月１７日(木) 13 時 30 分-17 時 10 分

第１部　モンゴル科学技術大学教員による講演　　13:30～15:00

第２部　茶話会　　15:00～15:30

場　所　岩手大学工学部キャンパス内　デザイン・メディア工学協創工房内

〒020-8551　岩手県盛岡市上田 4-3-5

講　師　〈第１部〉

ヤダマー・ナランツツグ　オンライン教育学院，院長

ラグワスレン・バヤルエルデネ　オンライン教育学院，副院長

グンジェー　ゾリーグ　　国際研究施設，ディレクター

メンドバヤル・オユンチメグ　土木工学学院，教授

ザグド・バトゥトグトフ　電力工学学院，上級講師

ツレンドンドグ・テンギス　計算機科学学院，教授

ビャンバジャブ・メンドサイハン　工業デザイン学院，講師

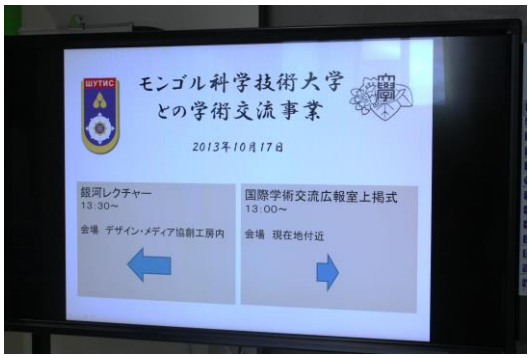
概要　〈第１部〉最初に，ヤダマー・ナランツツグ　オンライン教育学院長とラグワスレン・バヤルエルデネ副院長から，モンゴル科学技術大学（以下，MUST）の学院や施設構成，世界との学術交流，また MUST の各地域に開設されている分校への ICT 活用教育システムなどについて，概要説明があった．さらに，MUST に設置した本学工学系の広報室を写真により紹介し，今回本学にも MUST の広報室が開設されることもあり，一層の交流拡大に対する期待が述べられた．

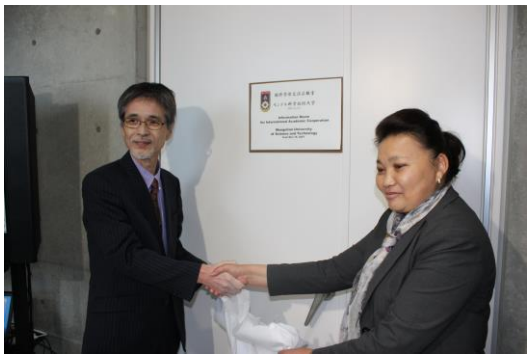
引き続き，グンジェー　ゾリーグ国際研究施設ディレクターより，ウランバートルのスマートシティ構想や，モンゴルの各大学が参加するクラウドユニバーシティ構想など，将来構想に関する紹介があった．特に，クラウドユニバーシティ構想は大学間の教育資源の共同活用に関するもので，日本においても参考にすべき点が多くあった．

次に，各学院の教員による学院紹介があった．メンドバヤル・オユンチメグ土木工学院教授から，埼玉大学での留学経験，および研究内容と学院紹介があった．ザグド・バトゥトグトフ電力工学学院上級講師からは，ウランバートルの大気汚染に関する現状が示され，安全安心なエネルギー開発・政策の重要性が述べられ，本学による貢献の可能性も感じられた．ツレンドンドグ・テンギス計算機科学学院教授からは，日本で開催のロボコンへの出場の時の様子も紹介され，本学のロボット関連研究者との交流発展への期待が示された．ビャンバジャブ・メンドサイハン工業デザイン学院講師からは，デザイン・メディア工学専攻の教員が中心となって運営しているアート＆テクノロジー東北（芸術科学会東北支部主催）に応募された学生の受賞作品の紹介もあり，デザイン・メディア工学専攻との交流拡大への可能性が大いに感じられた．

なお，銀河レクチャーに先立ち，モンゴル科学技術大学の広報室の上掲式も執り行われ，その後には，研究室やオープンキャンパス，また学内の教育研究施設の見学と，本学教職員との交流が活発に行われました．

イベント案内と上掲式の様子

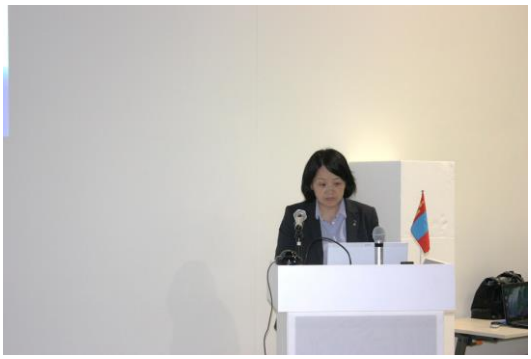
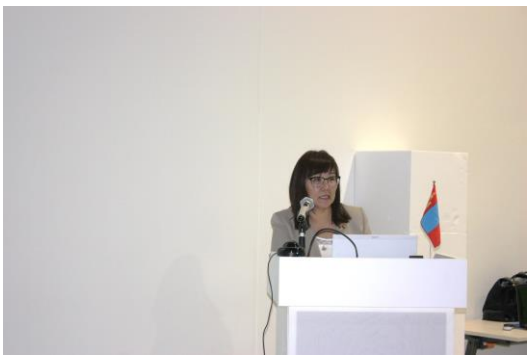




銀河レクチャーの様子







茶話会の様子（右は，MUST のパンフレットやグッズ）